

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	卒業研究
科目基礎情報					
科目番号	0121		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実習		単位の種別と単位数	履修単位: 11	
開設学科	電気電子工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	前期:12 後期:16	
教科書/教材					
担当教員	川崎 仁晴,寺村 正広,三橋 和彦,大島 多美子,柳生 義人,下尾 浩正,猪原 武士,高比良 秀彰,日比野 祐介				
到達目標					
1. 研究の背景・関連研究について調査し、理解、説明できる。(D1) 2. 研究遂行のための計画や方策を複合的にデザインできる。(D3) 3. 基礎知識をもとに創造性を発揮し、実践的対応ができる。(D2) 4. 研究成果を論文として論理的に記述することができる。(D4) 5. 研究成果を分かり易く発表し、適切な質疑応答ができる。(C1,C2) 6. 自主的にまた長期間継続的に研究を遂行できる。(E1)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
研究の背景・関連研究についての調査、理解、説明	十分にできる。	ある程度できる。	できない。		
研究遂行のための計画、方策の複合的デザイン	十分にできる。	ある程度できる。	できない。		
基礎知識をもとにした創造性の発揮と実践的対応	十分にできる。	ある程度できる。	できない。		
研究成果を論文として論理的に記述	十分にできる。	ある程度できる。	できない。		
研究成果の発表と質疑応答	十分にできる。	ある程度できる。	できない。		
自主的・継続的な遂行	十分にできる。	ある程度できる。	できない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 D-2 学習・教育到達度目標 D-3 学習・教育到達度目標 D-4 学習・教育到達度目標 E-1 JABEE d-2 JABEE d-3 JABEE d-4 JABEE e JABEE f JABEE g JABEE h JABEE i					
教育方法等					
概要	4年生までに学んだ一般知識、専門知識および技術を活用して、電気電子工学関連の研究を1年間を通して行う。具体的には、研究テーマの選択あるいは提議、研究計画の立案と遂行、研究結果の包括、研究論文を作成し、結果・成果の発表を行う。				
授業の進め方・方法	予備知識：4年生までに培った一般および専門科目の基礎知識、技術文書作文能力。 講義室：各教員研究室 学生が用意するもの：研究記録（配布）、研究ノート（各自で用意）				
注意点	評価方法：配布される研究記録の「卒業研究の評価方法」に従い、指導教員による各学生の研究状況に関する7項目の評価（70%）と、学科全教員による卒業研究審査における3項目の評価（30%）の総合評価とし、60点以上を合格とする。 自己学習の指針：教員による指示を待つだけでなく、自ら考え研究を進める。 オフィスアワー：各指導教員のオフィスアワーを確認すること。 ※到達目標の（ ）内の記号はJABEE学習・教育到達目標 研究を進めるうえの注意点： ①研究記録、研究ノートを最大限に活用し、正確な記録を残すことに十分留意のこと。 ②指導教員との打合わせを十分に行い、常に研究の進行状態のチェックに努めること。 ③「研究」であり、学生実験と異なって、結果は未知である。理論計算や実験、装置製作、プログラミング等を繰り返して、学生自身の手で、結果・結論を導くこと。 ④研究内容（結果）のみならず、それに至る過程も問う。研究過程が検証できない卒業論文は受理されないことがある。 ⑤文献調査や中間発表会・審査発表会などに参加し、卒業論文を出しさえすれば合格というわけではない。 ⑥総合的な評価の結果、3月以降の論文の再提出を求める場合がある。最悪の場合、不合格になることもあるので注意を有する。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス。教員による研究テーマ紹介。		
		2週	ガイダンス。研究室の配属決定。		
		3週	各研究室にて研究の実施。		
		4週			
		5週	◆研究の実施：一年間の一般的な流れ		
		6週	①文献調査		
		7週	(科学文献による研究の背景、従来の研究結果の検討)		
		8週	②問題点の明確化		
	2ndQ	9週	(研究の位置付けを検討、必要があれば追実験を行う)		
		10週	③研究目的・手段の決定		
		11週	(目的・目標の設定、研究手段の決定)		
		12週	④各分野に応じて研究の進行		

		13週	(理論(計算)系、実験系、複合・境界領域系に応じて)		
		14週	⑤理論およびデータの検討、考察(目標と比較)		
		15週	⑥研究結果のまとめ(結論)		
		16週			
後期	3rdQ	1週			
		2週	中間発表会概要締切		
		3週	中間発表会		
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	4thQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週	概要締切		
		13週	論文締切		
		14週	審査発表会		
		15週	資料整理・次年度引継ぎ		
		16週			

評価割合			
	研究状況の評価(指導教員)	審査発表の評価(学科全教員)	合計
総合評価割合	70	30	100
基礎的能力	0	0	0
専門的能力	70	30	100
分野横断的能力	0	0	0